

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ意見まとめ

地区	三谷地区	回数	第2回
日時	平成30年8月5日（日） 午後1時30分～午後4時30分		
会場	三谷公民館 大集会室	参加者数	26名

1. 課題解決に向けた視点について

1) 追加すべき視点

「②地区の活性化」は商業振興だけで達成できるものではない。住みよく子育てしやすい環境をつくり、人口減少を抑えることも活性化にとって重要なので、そういったまちづくりの視点も加えたい。

- ・ 「②地区の活性化」の意見要約に「商業振興」とあるが、まちづくりの観点で考えると人口を増やすことが活性化につながるのではないか。
- ・ 財政のことは重要ではあるが、「三谷の将来を考える」「住みよく子育てしやすいまちづくりで人口を増やす」という視点も忘れないでほしい。
- ・ 商業振興による活性化の話が出ているが、子育てしやすい環境づくり、住みやすいまちづくりに向けた対策をしっかりとることで、人口減少の回避をすべきではないだろうか。

「②地区の活性化」に商業振興とあるが、三谷地区だけでできる商業振興は限られているので、産業、観光、住宅を含めた地域振興をもっと広域的な視点から考える必要がある。

- ・ 「②地区の活性化」における商業振興という視点で言えば、三谷地区だけでは解決しない部分もある。地区の活性化に限らず、利便性の確保や防犯・防災に関しても三谷地区以外を含めた“広域的な視点”が必要ではないか。
- ・ 地区の活性化、地域振興という面では、観光面、産業面、住宅面を含めて三谷地区だけでなく広域的な視点で活性化を検討していく必要がある。

子育て層などの同世代が気軽に利用し、交流できる場がないのが問題なので、多世代交流の場よりもまず世代ごとに利用できる場、交流できる場をつくるべきではないか。

「⑤多世代が活動・交流できる場づくり」に加えてほしい。

- ・ 「⑤多世代が活動・交流できる場づくり」とあるが、それよりもまず同世代が利用できる場、交流できる場がない。特に子育て層が子育てに関すること以外（例えば、習い事や趣味）で利用できる場や、子どもたちが利用できる場がない。多世代交流の場づくりは、世代ごとに利用できる場、交流できる場を準備してからだと思う。
- ・ 子育て層が、子育てのためではなく、自分の習い事や趣味のために使える場が必要で

ある。フラワーアレンジメントの教室に豊橋まで通っているという話を聞いたが、地域でも教える人はいる。場所がないだけだと思う。地域でそのような場があれば若い層も活気づくはずである。同世代が利用できる場、交流できる場が必要だ。

2) 視点ごとの意見

①地区のまとめ

三谷地区の一部の子どもたちが竹島小学校や蒲郡中学校に通っていることや上区の子どもたちが三谷小学校と三谷東小学校に分かれて通っていることが地区の一体感の欠如につながり、行事への参加にも支障をきたしている。行政区と学校区が異なるという問題を解決するために、学校区を再編する必要がある。

- ・ 三谷地区の高齢化率が上がり、三谷小学校の児童数の低下が竹島小学校よりも激しいのは、マンションや建売が多く、新しい住民が増えていた西区内の地区を竹島小学校の学校区にしたことが原因だと思う。学校区を再編し、竹島小学校に通っている西区の子どもたちが三谷小学校に通うようになれば子どもが増える。
- ・ 西区の子どもたちの一部は三谷中学校区外である竹島小学校に通っており、上区の子どもたちも三谷小学校と三谷東小学校に分かれて通っている。同じ地区なのに通う学校が異なることは地域の行事を行う上で不具合が生じる。学校側としても学校行事と地区の行事の関係を調整する点においてやりにくいとの意見がある。
- ・ 小学校区と行政区が異なっているために、地区のコミュニティがチグハグになっている。また、お祭りの際、竹島小学校に通学している児童たちは、宿題や勉強をやりながらお祭りに参加していて大変な思いをしている（三谷小学校の児童はお祭り時は宿題の量が減る）。学校区と行政区を一致させればこのような不公平は起きないし、地区の一体感も出るだろう。
- ・ 竹島小学校周辺には新しい住宅が建てられ、若いファミリー層が引っ越してきているので子どもの数が増えているようだ。学校区を元に戻せば、小学校の統合をなくすこともできるし、さらには地区の一体感も出てお祭りもしやすくなるだろう。
- ・ 小、中学校の生活を通して地域への愛着が育まれる。学校を中心に子どもが生まれ、その親も育まれてコミュニティになっていくので、行政区と学校区の括りが同じであることは重要だと思う。
- ・ 竹島小学校に通う三谷地区の子どもは、やや祭りに参加しづらい面がある。

小学校の学校区再編が難しいのであれば、より地域とのつながりを意識する中学校の段階で三谷地区の子どもは全て三谷中学校に通うようにすればよい。中学生になれば体力もつき、自転車通学もできるので遠方への通学も可能になるだろう。

- ・ 小学校の学校区再編が難しいのであれば、せめて竹島小学校に通う三谷地区の子どもたちが中学校では三谷中学校に通えるようにしてもらいたい。

- ・ 小学校の学区の線引きを行政区に戻す案が挙げられているが、中学校の段階で三谷地区の子どもは全て三谷中学校に通うようにすればよい。中学生になれば体力もつき、自転車通学もできるので遠方への通学も可能になるだろう。また地域とのつながりを意識しながら育つ段階でもある。

地区外の小、中学校に通っている子どもたちを地区内の学校に通わせられれば、児童生徒数が増えて良いというのは三谷側から見た意見であり、竹島小学校区側から見れば異なる意見もあると思う。また、三谷でも新住民は行政区と学区の違いをあまり気にしていないようだし、保護者などの関係者がいない中、この場で話し合っただけで結論を出すべき問題なのか疑問だ。

- ・ 竹島小学校に通っている子どもが三谷小学校に来れば学校が成り立つのでよいというのはわかるが、竹島小学校の関係者は自分たちの学校がなくなるのは避けたいだろうから、逆に三谷小学校の子どもがこちらに来ればよいと主張すると思う。双方の学校の保護者などの関係者がいない中、このワークショップで学区再編や竹島小学校の統廃合を議論しても仕方がないのではないか。
- ・ 新住民（古くから三谷にいる人ではない人）の中には、学区と地区が分かれていても、特に支障がないと考えている人もいると思われる。

②地区の活性化

リニア開通を見据えて観光や産業を誘致する、津波の心配のない市街化調整区域を用途変更して宅地化する、県の施設である水産高校を多世代交流の場にするなど、産業、観光、住宅などの様々な面から三谷の発展を考えるべきだ。

- ・ 商業振興で言うならば、三谷地区だけでなくもっと広域的な検討をしないと活性化は期待できない。リニア開通を機に、現在のラグーナテンボスを含めた観光面、産業面や住宅面での誘致を期待したい。若い人がたくさん住めば自然と活気が出てくると思う。
- ・ 地区の活性化の視点において、県の施設である水産高校を多世代交流の場として考えてはどうか。
- ・ 津波の心配のない市街化調整区域を宅地化できるように用途変更して住宅を増やすくらいのことをしないと、三谷の発展はないと思う。

③学校教育環境の適正化

財政負担の軽減を考えれば小学校を統合することになってしまうのかもしれないが、蒲郡市内の他地区にはもっと児童数が少ない学校もある。何を基準に生徒数が少ないと判断するのか。

- ・ 財政負担の軽減を考えれば小学校を統合することになってしまうのかもしれないが、

蒲郡市内の他地区にはもっと児童数が少ない学校もある。何を基準に生徒数が少ないと判断するのか。

小学校を統合する場合は、児童の通学の安全性や利便性を確保するために、スクールバスを導入するなどの交通アクセス対策をしてほしい。

- ・ 小学校を統合すると通学が難しくなる子どもが出てきてしまう。
- ・ 小学校はできれば統合してほしくない。しかし、どうしても三谷小学校、あるいは三谷東小学校のどちらかに統合しなくてはいけないのであれば、児童たちの通学が不便にならないよう、スクールバスを導入するなどの対策を練ってほしい。
- ・ 統合に合わせてスクールバスを導入しなければ、保護者が車で送迎する家庭が増えるだろう。親の負担ばかりでなく、交通事故、交通渋滞の可能性も高まる。統合に合わせて、交通アクセスについて検討してほしい。
- ・ 統合した場合には、学校が遠くなっても通えるようにスクールバスを運用することが必要条件になる。

学校が徒歩で通える圏内にあるというのが小学生の体力づくりや健康づくりには大切だと思うので、統合によってスクールバス通学になったり、車で親が送迎するような環境にしたくない。

- ・ 学校が徒歩で通える圏内にあるというのが小学生にとっては大切だと思う。歩くことは体力づくりや健康づくりにつながるので、スクールバスを使ったり、車で親が送迎するような環境にしたくない。

小学校が統合されると児童数が増えるので、これまで人数の関係で限定されていた部活動の種類が増えることが、統合のメリットだと思う。

- ・ 小学校が統合されて唯一良いと思うのは、児童数の減少に伴い、部活の種類が限られていることが改善されるのではないかということである。

学校が統合されて子どもが遠くの学校に行くことになると安全安心面や利便性などでリスクが生じるので、保護者の不安が大きいだろう。反対する保護者もいると思うので、十分に意見を聞いた上で判断すべきだ。保護者の意見を聞く機会を設けてはどうか。

- ・ 自分の子どもを遠くの学校へ行かせることは安全安心面や通学の負担などのリスクが生じるため、親の反対は必至であろう。統廃合にあたっては地元の親（保護者）の意見を聞くなどして総合的に判断することが重要となる。
- ・ 三谷小学校と三谷東小学校の再編についてはなかなか判断が難しい。実際に子どもたちを学校に通わせている保護者の意見を聞く機会を設けてはどうか。

④子育てしやすい環境づくり

保育園を統合して数が減るのは、子育てしやすいという視点から考えると問題だと思う。

- ・ 保育園の統合をして数が減るのは、子育てしやすいという視点から考えると問題ではないかと思う。

共働きの家庭が多いので、放課後も安心して子どもが過ごせる場所が必要だ。空き教室などを活用した放課後の活動場所をつくれば、親のニーズに応えられ、地域内の子どもの数も増えるのではないか。

- ・ 地域内に子どもを増やすためには、親の意見を聞きニーズに応える必要がある。
- ・ 共働きの家庭が多いので、放課後も学校の中で安全に過ごせるとよいと聞いた。空き教室を活用して、放課後に学校でいろいろな活動ができると親にとっては魅力的だろう。
- ・ 放課後も安心して子どもが過ごせる場所が必要である。小学校に空き教室が増えるので、利用できるようにしてほしい。

図書館が遠かったり、スペースが狭いため、地域内に中高生が勉強できる場所がない。公民館や児童館などに自習室を設けられないか。

- ・ 図書館が遠いため、地区内に子どもたちが勉強をする場がない。中高生が友だち同士で勉強できる場が必要である。公民館、児童館に自習室を設けられないか。
- ・ 図書館のスペースが不足し、勉強できる空間が確保できていないので、どこかで確保できると良い。

⑤多世代が活動・交流できる場づくり

学校で多世代交流ができるのは良いことだが、教育活動以外の様々な活動を行う場合には教員の負担が増えないように配慮する必要がある。

- ・ 学校で多世代交流などの様々な活動を行う場合は、教員の負担が増えないように配慮する必要がある。
- ・ 学校で高齢者と子どもとの交流ができるとよい。

交流を生むためには、機能を複合化して交流の機会が増える設えをつくるだけでなく、ソフト面の工夫が必要だ。

- ・ 施設を複合化することで交流の機会は増えるかもしれないが、交流が生まれるためにはソフト面も重要である。

⑥防犯・防災

三谷公民館と三谷西保育園は海に近くて災害の危険性が高いので、安全な立地に移転すべきではないか。避難場所にもなることを考えると、公民館の移転先は現在の場所からあまり遠くない方がよい。

- ・ 三谷公民館と三谷西保育園は災害対応のためにも、どこか安全な立地にある施設に複合すべきではないか。
- ・ 三谷公民館と三谷西保育園は災害の危険性が高いため移転した方がよい。
- ・ 三谷公民館と三谷西保育園は海に近いので災害の危険性が高く、避難所指定もされていない。移転するなどの対応が必要だと思う。
- ・ 三谷公民館は津波による浸水の危険性をふまえて、他地区への移転を考えるのはもちろんであるが、現在の場所から遠くなる場合は高齢者などが避難するために移動時間がかかることのリスクも考慮して移転場所を検討する必要がある。

最近では災害が多いので、統合や複合によって避難場所が減ることが心配だ。

- ・ 最近では災害が多いので、統合や複合によって避難場所が減ることは心配である。

災害にはハード面だけでなく、避難対策などのソフト面でも対応することも重要だ。両方を踏まえ、地区個別計画を検討すべきだ。

- ・ 防災の考え方には、災害の大きさと頻度による「リスク」の考え方がある。大災害へのハード的な側面ばかりによる対応だけでなく、避難対策を考えた上での再配置計画とすべき。

⑦ 利便性の確保

住みやすいまちづくりのために、駅や公共施設へのアクセスの確保やバスの利便性向上などの交通アクセスに配慮してほしい。

- ・ 住みやすいまちづくりのために、駅へのアクセスの確保やバスの利便性向上などに配慮が必要だ。
- ・ 学校などの施設の統合を考える際には、交通アクセスについて検討してほしい。

⑧ 将来負担の縮減

将来費用推計の根拠がよくわからず、見通しも甘いように感じる。もっと正確な見通しが立てられないか。

- ・ 将来費用推計の根拠がよくわからず、見通しも甘いように感じる。もっと正確な見通しが立てられないか。

⑨ 運営の改善

公民館は誰でも利用できる施設だが、いつも利用している団体がよい時間帯を優先的に

予約しているのが実情なので、若い層が気兼ねなく利用できるような運営システムを導入しないと、ますます若者にとっては遠い存在になると思う。インターネットなどを活用して、公共施設の予約状況などが把握できるようにしてほしい。

- ・ 公民館は高齢者団体が当たり前のように良い時間帯を優先的に予約し、利用しているようだ。制度としては誰でも予約し、利用できるはずなのだが、使える雰囲気ではない。今後、若い層が気兼ねなく利用できるような運営システムを導入しないと、ますます若者にとって公民館が遠い存在になる。
- ・ どこにいても公共施設の内容や予約状況が把握できるように、インターネットなどを活用して情報提供してほしい。
- ・ 公民館の予約状況や利用状況を公開にするべきである。ネットでも確認できるようにしておけば、特定の団体がいつも同じ曜日、時間帯に利用しているという偏った事態は改善できるのではないか。

みや児童館に三谷小学校の児童クラブが設置されているが、管轄が異なるため、児童クラブ利用者とその他一般の児童館利用者で、活動プログラムやおやつなどの提供されるサービスも異なっている。子どもたちはお互いに気を使いながら過ごしているようなので、待遇の区別をなくすか完全に施設を分けるかして対応すべきだ。

- ・ みや児童館に三谷小学校の児童クラブが設置されているが、それぞれの施設の管轄が異なっているので、活動プログラムやおやつなどの提供されるサービスも異なっている。管轄の違いは子どもたちには全く関係ないにも関わらず、お互いに気を使い合っ

て活動しなくてはならないのは気の毒である。そのような思いをさせるくらいならば、区別をなくすか施設を完全に分けるべきだろう。

2. 課題解決のための具体策について

■施設再編の方向性

公共施設再編だけではない財政負担軽減策があるはずだ。各施設の長寿命化を進めれば、再編しなくても負担は軽減されるのではないか。

- ・ 公共施設再編だけでない負担軽減の方策がもっとあるはずだ。
- ・ 各施設の長寿命化を進めれば、再編しなくても負担は軽減されるのではないか。

施設の再編について地域の合意が難しいのは、将来の財政負担増大への危機意識がまだまだ薄いことが要因ではないか。危機的な状況に陥らないと意識が向かないのかも知れない。市の職員が区レベルで出前講座をするなど、現状を認識し、共有するための場をもっと設けるべきだ。

- ・ 施設の再編については地域の合意が難しい。のたれ死にする段階にまでならないと、施設を減らして負担軽減するという意識が向かないのかもしれない。

- ・ 将来負担の増大への危機意識がまだまだ薄い。そのため、なかなか地域がまとまらないので、現状を認識し、共有するための場をもっと設けるべきだ。市の職員が区レベルで出前講座をするなどしてはどうか。

空き教室や空き施設などを有効活用して、子どもたちが放課後過ごせる場や若者や子育て層が交流できる場などを整備できるとよい。既存施設の活用なので新しいものをつくるよりもコストがかからないだろう。

- ・ 具体策を考えるのなら、地域内にある空き地や空きスペースの情報を具体的に示してもらえないか。そうすれば、ここにこの機能をいれてはどうかという話ができる。新しいものを作るより、今あるものを有効活用する方がコストはかからないだろう。
- ・ 学校の統合は難しいが、空き教室が増えているのは事実なので、空き教室や空き施設を有効利用するべきだ。
- ・ 公民館は、高齢者団体が優先的に部屋を借りてしまう傾向があり、子育て世代などの若い層は利用を遠慮したり、そもそも申込みができるものだと知らない方もいる。そういった層が今から公民館を利用するのは極めて難しいため、小学校の空き教室などを子どもや子育て層が利用しやすくしてもらえると良い。まずは同世代間（特に若い層）が交流できる場を設けてほしい。
- ・ 高齢者のための施設として公民館が優先的に使われているため、学校の空き教室は若い層が使えるようにしてほしい。どうしても遠慮してしまうので、目的や年齢層別に明確に施設を分けることも必要である。
- ・ 子どもたちが放課後過ごせる場所が必要である。学校の空教室を利用して児童館にしてもよいのではないか。

機能を集約すると施設までのアクセスが悪くなる人が出てくる。機能によっては近くにある方が便利なものもあるので、空きスペースや地域内に点在する各区の集会所を活用することも検討すべきだ。

- ・ 機能を集約することばかり考えると、施設までのアクセスが悪くなる人が出てくる。機能によっては近くにある方が便利なものもあるので、空きスペースを活用するなどして、身近に整備する方がよい。
- ・ 身近にある施設として、地区内に分散している各区の集会所がある。それらを活用することも考えてはどうか。既存施設の活用なのでコストもかからない。
- ・ 区の住民でないと使えないと聞いたので、広く使えるようにするにはルールの変更が必要になるかもしれない。

災害時の危険性を考えると三谷公民館は移転すべきなのかもしれないが、津波の際の浸水に耐えられるような構造や高さにして、現公民館の安心安全の強化を図るのも1つの

方法ではないか。

- ・ 三谷公民館における津波の浸水の危険性に対応するため、浸水に耐えられるように構造や高さを強化して、現公民館の安心安全の強化を図るというのも一つの手段である。

30年、40年後の社会状況は変わっていくので、地域内の人口推計のシミュレーションが難しいのは確かだが、学校区や行政区の再編や公共施設の再配置の検討をするために、前提条件としての推計は必要だと思う。

- ・ 地域内の人口推計のシミュレーションはあてにならないという意見があるが、確かに30年、40年後には人口分布は変わるので、シミュレーションをすることは難しく、必ずそうなるとは限らないだろう。ただ、学校区や行政区の再編や公共施設の再配置の検討をするためにはどこかで前提条件を決める必要があると思う。

公共施設の再編を考える上で竹島小学校の学校区問題は重要だ。これを考慮しないと小学校の統廃合を含めた再編の方向性が見えてこない。

- ・ 三谷においては地区と学校区が密な関係にあることから、竹島小学校の問題は重要であると考えており、現在の地区と学校区の問題を解決しないと施設再編の方向性も見えてこない。
- ・ 竹島小学校区問題は、将来的な施設の再編を検討する上で重要な問題であり、三谷小学校、三谷東小学校の統廃合を考えるにあたっては、竹島小学校の子どもたちのことも考える必要がある。

■施設の複合化

複合化によってメリットとデメリットの両面が生じる。例えば、1カ所でいろいろな用事ができて利便性は高まるが、様々な人が出入りするので防犯面で不安が生じたり、駐車場の問題が出てくる。メリットとデメリットを整理して明確にし、何に重きを置くのかを考える必要がある。

- ・ 複合化や集約化によって、利用者にはメリットとデメリットの両面が生じる。たとえば、複合化すれば1カ所でいろいろな用事ができて利便性が高まる一方で、利用者が多くなると駐車場の問題が出てくるかもしれない。メリットとデメリットを整理し、明確にする必要がある。
- ・ 施設を複合化することで利便性は向上するかもしれないが、防犯、防災面では心配な点が増えると思う。複合化して様々な人が利用することにより、防犯面では不安が生じるし、平地に施設をつくることでアクセス性が向上すれば、津波など防災面の課題が出てくる。一方で、防災面を優先させて高台へ複合施設をつくれれば利便性は低くなるだろう。全ての条件を満たすことが難しい中で、三谷地区にとって、特に何を重要

にするのか、今後考えなくてはいけない。

学校や保育園に公民館などを複合すると、不特定多数の人の出入りがあるので防犯面が心配だ。防犯カメラの設置やソフト面の対策を行い、セキュリティ強化をする必要がある。

- ・ 学校施設と公民館や保育園等を複合化して同一施設とする場合は、安全管理や機能分離が重要となる。
- ・ 学校や公民館などを複合化すると、不特定の人が来場するため防犯面が心配である。公民館の夜間利用者が学校に間違えて入ってしまったたり、不審者が侵入しないよう、防犯カメラの設置等でセキュリティの強化をお願いしたい。
- ・ 複合化によって生じる防犯、防災面の懸念事項に対して、ソフトでの対策をどこまで講じることができるかも重要だと思う。

高齢者と子どもは相性が良いので、高齢者が使う施設と子どもが使う施設を複合し、空間の作り方を工夫してお互いがゆるやかにつながるようになると良い。

- ・ 高齢者と子どもは相性が良い。安城にあるデイサービスと保育園の複合施設が好例だ。共存のためにゆるやかにスペースを分けつつ、ゆるやかにつながる複合の在り方があるのではないだろうか。高齢者が子どもの面倒を見てくれるなどの関係づくりができることも地域や子どもにとって良いことだと思う。

高齢者と子どもがイベント時に交流する程度ならよいと思うが、日常的に共存するのは現実的には難しいと思う。

- ・ 高齢者と子どもの共存は現実的には非常に難しい。日常的にはではなくイベント時に交流する程度なら良いと思う。

三谷西保育園を三谷小学校に複合すれば津波・高潮からの安全が確保できる。同じ敷地内で園児と児童の共存が可能ないように、建物の建て方の工夫が必要である。駐車場が十分に確保できるかも課題である。

- ・ 三谷西保育園が三谷小学校に移転できれば災害時の安全性の確保ができる。三谷小学校を建て替える際に複合化するとよいが、空き教室が活用できるならすぐにでも移転を実現できるのではないか。
- ・ 三谷西保育園は津波、高潮の浸水想定区域であるため、災害時に危険である。三谷小学校、あるいはみや児童館に複合化するとよい。
- ・ 三谷西保育園は災害の危険性が高いため、三谷小学校と複合すると良い。
- ・ 三谷西保育園が三谷小学校に移転できれば災害時の安全性の確保ができる。三谷小学校を建て替える際に複合化するとよいが、空き教室が活用できるならすぐにでも移転

を実現できるのではないか。三谷西保育園と三谷小学校を複合化するなら、駐車場の確保が課題になる。

- ・ 三谷西保育園と三谷小学校の複合については、同じ敷地で共存が可能か心配であるが、建物の建て方の工夫などで干渉を避けることが可能だろう。

三谷公民館を三谷小学校に複合すれば、現状の立地からさほど遠くないし、高齢者と子どもなどの多世代交流の場ができる。公民館の跡地は三谷祭を紹介するとともに祭りの拠点となる「三谷祭会館」にしてはどうか。

- ・ 三谷小学校と三谷公民館が一緒になれば、高齢者と子どもとの交流も生まれ、多世代交流の場づくりができる。
- ・ ただ、三谷東小学校だと今の場所から遠くなるので、三谷公民館を三谷東小学校に複合するというのではないと思う。
- ・ 三谷公民館を移転するとしたら、跡地は「三谷祭会館」にしてはどうか。まつりの時の拠点として使い、観光客にまつりを紹介する場としても活用できるとよい。

三谷公民館と三谷西保育園を現状の場所からあまり離れていない三谷小学校に複合し、さらに児童クラブも一緒にできると安全が確保できるとともに利便性が高まる。

- ・ 三谷公民館と三谷西保育園の安全性の確保を考えると、現状の場所からあまり離れていない三谷小学校に複合するのがよいのではないか。さらに今はみや児童館を使っている児童クラブも三谷小学校に入れられるとよい。
- ・ 三谷小学校を中心に津波の浸水リスクのある三谷公民館や三谷西保育園を複合化することで再編を図ってはどうか。また児童クラブについても三谷小学校に複合化できるとよい。
- ・ 三谷小学校と公民館や保育園を複合化することで、利用者の交通アクセスも集中して利便性が高まる。

みや児童館の1階に図書館や学習スペース、子どもや親世代も含めた若年層の集える場などを整備できるとよい。児童館機能が拡大され、中高生の利用も増えるのではないか。

- ・ みや児童館の1階に図書館を入れられないか。分室は手狭なのでより広いスペースを確保できる。学習スペースも作れるとよい。
- ・ みや児童館は1階のスペースも活用して、これまでの児童館機能を拡大し、子ども食堂や宿題をみてあげたりする学習塾的なものも展開できるとよい。そうすれば中高生の利用も増えるのではないか。
- ・ みや児童館1階の三谷デイサービスが移転するので、跡地を自習室や子どもが集える空間として整備してほしい。さらには、子どもだけでなく親世代も含めた比較的若い

層のための施設として整備してはどうか。

三谷西保育園をみや児童館の1階に移転させ、異年齢の子どもの交流ができるとよい。津波・高潮による危険も避けられる。

- ・ 三谷西保育園をみや児童館の1階に移転させ、異年齢の子どもの交流ができると良いのではないか。
- ・ 三谷西保育園は津波、高潮の浸水想定区域であるため、災害時に危険である。三谷小学校、あるいはみや児童館に複合化するとよい。

児童館の1階の面積は保育園としては狭すぎるし、みどり保育園とも近いので、三谷西保育園を移転するのは現実的ではないと思う。

- ・ 三谷西保育園を児童館の1階に移転させるのは、面積が600㎡で保育園としては狭すぎるし、みどり保育園とも近いため現実的ではないと思う。

三谷小学校への公民館や保育園などの複合化を先行プロジェクトとして着手すれば、学校から移動せずに様々な活動ができる場があることを子育て世代にアピールできて、地域の評価が高まり子どもが増えるかもしれない。再編に取り組む前に順序として考えてほしい。

- ・ 三谷小学校、三谷公民館、三谷西保育園、児童クラブの複合化は先行プロジェクトとして実施できるとよい。学校から移動することなく様々な活動ができるようになれば、子育て世代にアピールできて地域の評価が高まるだろう。そういう情報はお母さんの間ですぐに広まるので移住者が増え、子どもも増えるかもしれない。再編に取り組む順序も考えてほしい。

複合化することでより広い駐車場が必要になると思うが、敷地の関係で十分なスペースが取れない場合には、コミュニティバスなどの公共交通機関を充実させることで対応してはどうか。

- ・ 施設を複合化して1カ所に集中させることで逆に駐車場不足などの弊害も出てくると思われる。敷地的に十分な用地が確保できない場合は、公共交通機関（コミュニティバスなど）を充実させることで対応する。

■学校の統合

三谷小学校は地域の中心にあるので立地がよく、歴史も古くて地域の象徴的な位置づけだ。地域コミュニティの柱でもある重要な施設なのでなんとか残したい。

- ・ 三谷小学校は地区の中心地であって場所も良いし、歴史も古くて地域の象徴的な位置づけなので、三谷小学校を残すことを前提に再編を考えてもらいたい。

- ・ 三谷小学校は市内で2番目に児童数が少ないので、放っておくと統廃合されてなくなってしまうだろう。しかし、学校と病院は地域コミュニティの柱となる重要な施設だと思うので、学校を維持できる方法を考えたい。
- ・ 上区を三谷小学校の学校区に入れることで三谷小学校を維持できないだろうか。

三谷小学校と三谷東小学校は両方とも残し、小学校を拠点にしてそれぞれ複合施設をつくってはどうか。三谷小学校にみや児童館と三谷西保育園、三谷東小学校に三谷東保育園を複合するのであれば、これまでの立地と大きく変わらないので抵抗感も少ないだろう。

- ・ 三谷小学校と三谷東小学校は両方とも維持したい。
- ・ 様々な意見があるので、それらの意見をまとめて小学校を統合するという結論に至るのは難しいのではないかと。だとしたら学校はそのまま残すのがよいと思う。
- ・ 小学校をそれぞれ残し、エリアごとに複合施設をつくってはどうか。公民館はどうするかは今後の検討だが、三谷小学校にみや児童館、三谷西保育園を複合し、三谷東小学校に三谷東保育園を複合するのであれば、これまでの立地と大きく変わらないので抵抗感も少ないだろう。
- ・ 小学校をどちらかに統合するというのではなく、小学校はそれぞれ残し、エリアごとに複合施設をつくるのがよい。

三谷地域はエリアが広く、いずれの小学校も地域の中心に立地しているわけでないで、どちらに統合するにしてもアクセスの問題が出てくる。土地が確保できるなら、地域の真ん中に小学校を集約できるとよい。

- ・ 学校に複数の機能を複合させるとしたら、2つの小学校も中学校も地域の中心に立地しているわけでないで、アクセスの問題が出てくる。土地が確保できるなら、地域の真ん中に小学校を集約できるとよい。
- ・ 三谷小学校か三谷東小学校のどちらに寄せるにしてもエリアが広すぎて難しい。

3. その他

- ・ 公共のプールやトレーニングジムが地域内にはないので、そういう施設ができるとよい。
- ・ 竹島小学校に通う三谷地区の児童数の資料がほしい。